



## 学びの条件を整える

校長 三木 勝 仁

何かを学ぶとき、その学びの土台となるものが大切です。土台として、言葉はとても大事ですが、もっと大事なものは体験です。「見た」「聞いた」は学ぶためにとても有効ですが、「～をした」はもっと有効です。使う感覚が増えるからだ、私は思っています。「聞いた」は耳しか使わないことがほとんどだと思いますが、「～をした」は「目」「手などの触覚」も使うでしょうし、一緒にいる人と話せば「口」を使い、自分の声を「耳」で聞くこともあるでしょう。味覚や嗅覚を使う場合もあるかもしれません。

仲間と学ぶとき、「共通に体験したこと」から始めることが大切です。一部の人だけが知っていることから学習が始まると、知らない人は最初から置いてきぼりになってしまいます。体験したことには個人差がありますが、一番、その差が大きいのが入学当初の1年生です。学校で学習したことは、忘れていたことがあったとしても、0年生のときにしたと、仲間みんな思い出すことができますが、1年生はまだ、そのような共通の体験が少ないのです。

今号では1年生を担当している脇坂教諭が、「スタート・カリキュラム」や共通の体験が少ない中から始まる学習について寄稿してくれました。これから進めたい学習に有効な「これまで」のものは何なのか、今日の学習が子ども一人一人にとって、「これから」どのように活用され、どこまで深めることが必要なのか、それぞれに考えながら教育活動を進めています。

## すばらしい...

児童玄関が開く時刻前のこと

①あたたかな朝に 校舎の壁にアカトンボが1匹、ブローチか紋章のようにとまっていました。「休んでいるんだね」、「昨日は寒かったしね」と、友達と話している子たちがいました。また別の一団が階段の端に。暖かさに誘われ、どこかから出てきたスズムシを捕まえようと大にぎわいでした。いい朝でした。

②寒い朝に 「これ、見て～」と差し出してくれたのは、氷のレースで縁取りをしたようなシロツメクサの葉でした。「きれいでしょ」、「つめたいんだよ～」と言いながら手に載せ、見せてくれました。

その後、バス通りを歩いていると、「行ってきます」と元気な声が後ろから。自転車で中学校へ向かう男子でした。通り過ぎる背中に「行ってらっしゃい」と声をかけながら、ぽかぽかとした気持ちになりました。とっても素敵な朝でした。

## リレー連載

## カリキュラム・マネジメント

## これまでを見つめて、これからを見据えて

1年1組担任 脇坂 康

1年生が旭川第3小学校に入学して、早いもので半年以上が過ぎました。学習内容はもちろん、学校の施設や設備の使い方、生活のきまりなど、1年生はさまざまなことを覚えていかなければなりません。

本校では、入学してからしばらく「スタート・カリキュラム」という取組を行います。短時間の学習をしたり幼稚園や保育園で行ったような体験的な活動を多く取り入れたりするなどして、まずは学校という場での生活に慣れることを優先します。そのようにして、幼稚園・保育園の遊びを通した学びから小学校の学習中心の学びへと、できるだけスムーズに適応できるように取り組んでいます。

たくさんの幼稚園・保育園から、子どもたちが本校に進学してきます。園では、それぞれの教育目標をもとに特色ある活動がなされています。「縄跳びは跳んだことがある?」「この歌は歌ったことがある?」など子どもたちに聞くと、幼稚園や保育園で教わったことをとても詳しく嬉しそうに教えてくれます。このように、子どもたちが得意なことやこれまでの経験をまずは把握し、それを学習に生かせないかと考えるところから、学習の組み立てがスタートします。

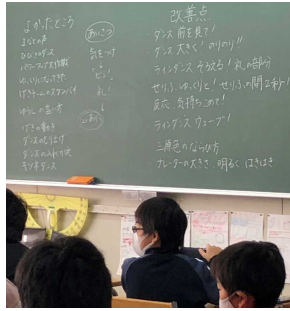
日々、初めて体験することばかりの子どもたち。さまざまな活動に目を輝かせる姿は、素直でとても可愛らしいです。学ぶことそのものの楽しさはもちろん、今学んでいることが身近などのような場面で見られるのか、これからの学習にどのようにつながっていくのかを我々教員は意識しながら、子どもたちに伝えるように心掛けています。そして、成果を振り返り次の指導を改善しながら、子どもたちの興味と学びの世界をさらに広げていけるよう、これからも支援していきます。

## よく考える子 「みんなにとってよい」考えを、話し合い により見だし、実践できる子

### 学芸会～見通しと振り返り

10月22日(土)に、2, 4, 5, 6年生は、学芸会を行いました。

10月20日(木)の児童公開後、「振り返りカード」に個人の反省を記入したり、iPadのアプリ「ロイロノート」を活用して各学年の発表を見た感想を交流したりしました。5年生は、学級会で改善策を話し合いました。各学年それぞれの改善策を基に練習を行い、保護者公開日で反省を生かした発表をすることができました。



改善点を話し合う5年生

## きたえる子 「なりたい・ありたい」自分を見だし、 そのための行動を続けられる子

学芸会終了後は、各学年の実態に応じて、振り返りを行いました。2年生は、学芸会の反省を、作文に書き、4年生は、「振り返りカード」に記入して振り返りを行いました。



作文に書く2年生

6年生は、「みんなへのメッセージ」として、それぞれの良さを認め合い、お互いの成長をたたえ合いました。



カードに記入する4年生

2学期は残り約2ヶ月となりました。11月からは「読書習慣」「家庭学習充実週間」があります。子ども達が目指す「なりたい・ありたい」自分の姿に向けて、引き続き支援していきます。

**千聖**

一人一人のセリフ、行動に感情がこもっていて、工夫してお客さんを笑わせていたりして良かったと思う。 英史

最後の学芸会でみんな緊張していたけど保護者のみなさんが笑っていて楽しめたから良かったと思う。 齊藤唯汰

みんな上手だった! 最高の思い出ができた! 安部幸太郎

一人一人の台詞に気持ちがかもって見ている人も発表している自分達も楽しめるような劇になっていたから良かった。 陽菜

今まではごく楽しんでたよ良かったよ。そして、話して学芸会になったから、

普段大きい生懸命と思っ児童公開してたけど

みんなが声大きく出していて動きも大きく出して良かった。自分の役をしっかりと演じていた。

みんなが自分の役を自覚して、しっかり伝えることを伝えてそれぞれの演技の良さが出ていると思う。

最初の学芸会は、先生が題材決めていたけど、今回は、自分最初から劇を作るものでも楽しかったけど、一人一人の過去を思い出して自分を演じることができてよかった。学芸会を作り上げたことで、

夏希

の六年間やってきたことを思い出していたと思う。悔しいと思うし、みんなと表現していたので似ていたと思います。 瑠璃

最初から最後まで楽しく面白くやっていたし、観客の保護者を笑わせてよかった。 菊地涼介

学芸会をやり切った みんなへメッセージ

ロイロノートの感想

## よく考える子 情報を適切に発信・活用できる子

### iPadを活用したオンラインでの学習

コロナ感染予防のため、登校しての学習ができないときに、子ども達の学びを保障するために、iPadの貸し出しを行い、オンラインでの学習を行っています。自宅でiPadの画面越しに朝の健康観察を行ったり、教科の学習で教師の話の聞いたり、板書をノートに書き写したりするなど、教室と同じ学習を受けることができます。

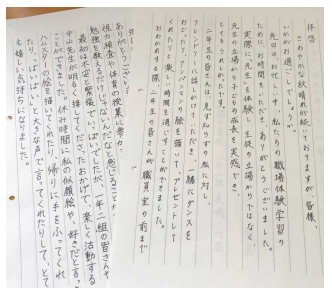


オンラインでの学習の様子

## 仲よくする子 いろいろな人と仲よくできる子

### 東陽中学校の生徒が職場体験

東陽中学校の生徒2名が職場体験学習のために、本校の1, 2年生の教室で、授業のお手伝いを行い、休み時間は児童と交流を深めました。



中学生から届いたお礼の手紙

子ども達は、中学生に勉強を教わったり、休み時間にグラウンドで遊んだりする姿が見られました。

中学生から届いたお礼の手紙には「大変なことがたくさんあるけれど、子ども達の成長を感じられ、うれしい。やりがいがある魅力的な仕事だと感じた。」と綴られていました。今回の中学生の訪問は、将来の自分のありたい姿を模索する大切な体験です。そのことから子ども達も、自分が将来どんな職業に就きたいのか、そんなことを考えるきっかけになりました。

日	曜	11月の行事予定
1	火	交通安全の日, 児童会朝の見守り活動(～4日) 読書月間(～30日)
2	水	読み語り(3, 4年)
3	木	文化の日
7	月	朝会, 家庭学習充実週間(～18日)
8	火	クラブ(最終)
10	木	アイヌ民族音楽会(4年) 読み語り(5, 6年)
15	火	諸費引き落とし日
17	木	読み語り(1, 2年)
23	水	勤労感謝の日
24	木	個別懇談・校内絵画展(～30日)
30	水	スクールカウンセラー(井上先生) 来校

※予定は変わることがあります。学級通信でご確認ください。